

「分裂…分“進、の術！」 (はざま隆治)

て桜の木を植えた。独唱コ
ンクールに選ばれ、真新し
いブラウス、スカートで元
気よく歌った思い出(あの
頃はお盆と正月にしか服を
買ってもらえなかった)。
還暦を迎え、あつという
間に68歳。名護出身の両親
も亡くなり、故郷も遠くに
なった。この年になって、
両親の偉大さ、優しさ、ぬ
くもりを思う。
主人ともども仲良く老後
を過ごせたらいいなと思
いつつ筆を執った。あの頃の
皆さま、ごきげんよう。

(神奈川県横浜市)

つづき

低空飛行、規制迫る
米は従うだけだ

米に従うだけだ
—伊

(豊見くすく・字差)
—日

(北谷町)

は、子どもを保育
れず、働く意思が
も働くことができ
深刻である。日本
はどうなっていく
のかが政治に期待
「働く」の骨格で

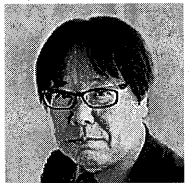
「がいを

中で国は、「働き
に着手している。
正規」によって違
。「karoshi」
表記されるまでに
「労死」問題。そし

一般社団法人日本産業カウ

1、63歳)

琉球新報 2017年11月21日



東恩納 厚

東恩納組 代表取締役会長

風冷えて、ひかげた庭の、
隅踏むと、私の代わりに、
泣く霜はしら。

中学の頃、埼玉県の叔父
の家に寄宿していた。家が
恋しくて、毎夜枕を濡らし
た。人間到る処青山有り
とは成らなかつたが、掛替
えのない時を過ごした。

さておき、近代建築の巨
匠のひとりに Le Corbusier
がいる。彼の作品は、
世界7カ国17作品が世界遺
産に登録されている。また、
近代建築の五原則を提唱し
たことで知られる。

フランスのロンシャン地
方に、中世に建てられた礼
拝堂が存在していた。それ
は、第2次世界大戦でナチ
スドイツの爆撃により失わ
れた。請われて彼は、5年
の歳月を要し、新たな礼拝
堂を創った。

同じく私達も、平和を希
求する建築家である。

我が社は、辺野古の基地
建設に決して参入しない。

私達は、子供達に何を残
すのか。それは誇れること
なのかに仕事の基準を置く。

南風

ロンシャンの礼拝堂

ロンシャンの礼拝堂
愛する人と暮らし
ただ平穏を

神に祈ったこの地で
大きな争いがあつた
あまたの命が奪われ
夢や希望

小さな幸せさえも
失われた礼拝堂
私達も

基地のある島に生まれて
先人の魂の囁きを聞く
子供達に何を残すのか
平和か戦争か
命の重さ

平和の尊さ

それがすべて
茶色の大きな屋根と
白く厚い壁の

この礼拝堂を
コルビジエは何を想い
創ったのだろう
私達も

平和を創る建築家で
在りたい

Atsushi Higashitama

戦争は
問題解決の
最後の手段ではなく
最後の間違いだ

Heinz Fischer

投稿規定 声・ネットワーク400字、論壇1000字、ティータイム600字。住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記。〒900-8525 那覇市天久905。原稿は琉球新報社オピニオン係に郵送。ファクス098(865)5234、メールkoe@ryukyushimpo.co.jp 問い合わせは同係 ☎098(865)5175。他紙との二重投稿は厳禁。掲載の可否についての問い合わせには応じかねます。「うそっばち」は社会部ファクス098(865)5222。